

児童発達支援事業・放課後デイ事業で 独自のカリキュラムを構築する

課題

新社会性向上プログラムを 構築して保護者の不安に対応

岩手県紫波郡矢巾町で児童発達支援事業および放課後等デイサービス事業所「SMILE HOUSE にこnico」を運営するレスポンスアビリティー合同会社。自閉症やアスペルガー症候群などの発達障がい・身体障がい・知的障がいなどの障がいのある0歳から18歳までの子どもたちが通う福祉サービス事業所で、発達に応じた支援や生活の自立のための支援を受けることができる。保護者の9割は仕事をもっており、他社では導入していない就学前児童を対象にした独自のカリキュラムは、保護者から好評を得ている。

しかし、アンケート調査を行ったところ、就学前の保護者からは「通常の学校に入れるか不安だ」「就学後、友だちとトラブルにならないか不安」など就学に対する不安が大きいことがわかった。

また、就学児童の保護者からは「就職できるか不安」「人づきあいがうまくいくか不安」などといった声が多く寄せられ、生活に大きな不安を抱いている人が多いことが浮かび上ってきた。

これらの不安を解消するため、同社では、従来行ってきた就学前訓練に加えて、社会性の向上に向けた独自のカリキュラムを構築したいと考えるようになった。

支援

「見える化」や進捗状況を共有 一丸となって新サービスを開発

相談を受けて支援にあたった矢巾町商工会では、ヒアリングを行い、現状を分析。SWOT分析で抽出した同社の強みは以下のようなものだった。

①就学前訓練の実績、②重度の児童に対するケアに長けており同業者や療育センターからの信頼が厚い、③保育士、理学療法士、介護福祉士、介護訪問ヘルパーなどの資格をもつスタッフが教育支援に当たり、各種の研修への参加などでスタッフのスキルアップにも力を注いでいる。

これらの強みを活かして、新たなサービスとして「ソーシャルスキルトレーニング（SST）」の開発に取りかかった。社会性や対人スキルの向上を図って保護者の不安を払拭し、満足度を高めることによって新たな利用者を増やし、経営の安定化につなげていこうという経営革新計画だ。



強みを引き出し、保護者の不安に対応する新サービスを開発

商工会では、カリキュラムの考案については、従業員に対して計画内容の見える化を行い、いつ、誰が、何をやるのかを明確にし、全体でスケジュール管理をしながら進めていくことで社一丸となって積極的な取り組みとすることができた。経営革新計画の策定については、実現可能な売り上げ目標、営業計画を作成。2018年12月に経営革新計画の承認にこぎつけた。

新サービス導入後の売り上げは1年目から目標を達成した。将来的には就労施設を設置したいという目標に向け、着実に歩み出している。

支援の経過

期間	支援内容
2017年5月～	定期的な巡回による信頼関係の構築
6月～	ヒアリングシートを活用した現状分析
7月～	SWOT分析、課題抽出、目標設定、新事業考案などの支援
2018年9月～	新事業の構築、経営革新計画の策定支援
2019年5月～	進捗管理、持続化補助金の申請支援

会社概要

会社名：レスポンスアビリティー合同会社
住所：岩手県紫波郡矢巾町大字高田15-8-1
電話番号：019-613-9737
代表者名：代表社員 阿部俊
創業年：2014年
従業員数：5名
商工会名・担当者名：矢巾町商工会・山田徳浩